

独立行政法人

国立国際医療研究センター病院

National Center for Global Health and Medicine
http://www.ncgm.go.jp/

発行 連携医療ネット

住所 東京都新宿区戸山1-21-1

代表 TEL 03-3202-7181

FAX 03-3207-1038

地域医療連携室

直通 TEL 03-3202-8066

FAX 03-3202-1003



連携医療NEWS

Vol.31 3月号

新任あいさつ

第一新生児科医長

五石 圭司



このたび2015年1月1日に国立国際医療研究センター病院小児科に着任しました五石圭司（ごいしけいじ）です。専門分野は新生児医療で、特に新生児の呼吸循環管理や新生児蘇生を専門とし、普段はNICU（新生児集中治療室）を主な勤務場所としています。

大学卒業後、小児科を志して東京大学小児科に入局したのですが、臨床がしたくて入局4か月後には市中病院に出て研修を継続しました。いくつかの病院で小児科医としての経験を積んだのち、長野県立こども病院新生児科で新生児医療の研鑽をつみました。2000年に大学病院に戻ってからは、臨床の傍ら、その頃国立大学病院にはまだ珍しかったNICUの設立に携わり、NICU設立前には50%程度しか救命できなかった超低出生体重児（出生体重1,000g未満の児）の救命率を90%以上に向上することができました。さらにNICU医長として総合周産期センターの設立、新生児・小児集中治療部の設立などに携わりました。その後、国立成育医療研究センターを経て当センターで新生児医療に従事することとなりました。

内容

- ・新任あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- ・先進医療における敗血症の迅速診断・・・・・・2
旬の味覚
- ・放射線治療の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
看護通信
- ・連携登録医の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

現在、当センターNICUへの受け入れ可能な新生児を在胎28週以降としており、連携病院の先生方にもご不便をおかけしていると思います。NICUの体制は、若い医師や病棟の看護師が24時間体制でシステムを支える必要があるからです。ただこのセンターに着任して印象的だったのは、医療現場の若いスタッフ（医師、看護師、他のコメディカル）が非常に積極的で生き生きと働いていることでした。今後さらに体制を整え、具体的には今春をめどに更なる早産児の受け入れを開始できるよう、準備を始めています。準備が整いましたら改めてご連絡させていただきます。

同時に、小さく生まれた児や出生時に何らかの疾患を持って生まれた児は、退院後も通常の小児科診療以上に注意を払わなければならないことがあります。幸い、国立国際医療研究センターは小児科を含め、救急体制には以前より力を入れており、24時間体制で小児救急の受け入れが可能な体制が整っています。そのような体制のもとだからこそ、基礎疾患を持った児の日常の外来診療にも力を入れることができると考えています。

また、特に出生直後の児をご紹介いただいた場合は、母子分離の問題もあります。迅速な対応とともに、しっかりと母子関係確立を念頭に産科施設との連携を深め、可能な限り早急に両親のもとにお返しすることを目指していこうと思っています。今後ともよろしく願いいたします。

先進医療における敗血症の迅速診断について

国際感染症センター医師

早川 佳代子



はじめに

敗血症では、初期に抗菌剤による的確な治療を施行できるか否かが、患者さんの予後に大きな影響を与えることが知られています。現在の一般的な敗血症の診断法としては、培地に患者さんから採取した血液を混合し、一定時間培養して菌の発育を確認する血液培養法が行われています。しかし、血液培養で陽性となった検体の菌名同定には、数日かかる場合が多い事が問題です。敗血症治療では、迅速かつ確実な診断に基づき、最適な抗菌薬の投与を一刻も早く開始する必要がありますにもかかわらず、実態としては、一般的な敗血症の検査診断方法では必ずしも十分に対応できていませんでした。

Verigeneシステムについて

Nanosphere社（米国）が開発したVerigene（ベリジーン）システムは、遺伝子検査装置と各種専用試薬キットから構成された自動多項目同時遺伝子検査システムです。その操作の簡便性に加え、DNAマイクロアレイにより、1度に多項目を同時に検出することができると特徴です。本システムを用いる遺伝子検査では、グラム陽性菌及びグラム陰性菌別に2種類の試薬をそれぞれ用います。Verigeneシステムによる検査では、血液培養陽性後3時間程度で敗血症の起因菌と薬剤

耐性遺伝子を検出・同定することが可能です。

操作方法 検体前処理から検出までを全自動測定



先進医療における敗血症の迅速診断について

現在、Verigeneシステムの臨床的有用性を従来法の菌名同定・薬剤感受性検査と比較検討するための研究を、先進医療として当院で施行中です。敗血症が疑われ、血液培養陽性の当院入院後72時間以内の患者さんが対象になります。先進医療とは、臨床研究の中でも保険で認める前段階として、厚生労働大臣から認められた医療行為のことを言います。医療行為として確立していますが、まだ保険の適応対象とすべきか検討されている段階にあるため、費用(1000円)を患者さんに負担して頂くこととなります。また、その治療成績をはじめとした有効性、安全性に関する情報が臨床研究のデータとして収集されます。

当院のどの診療科を紹介受診された患者さまでも血液培養が陽性になれば適応になりますので、ご紹介につき宜しく申し上げます。

旬の味覚 たけのこ

管理栄養士

萩野 裕佳



たけのこには多くの食物繊維が含まれており、特に不溶性食物繊維が豊富です。この不溶性食物繊維は、腸の中で水分を吸収して大きく膨らみ、腸を刺激して蠕動運動を活発にします。便秘を解消し、腸内の有害物質の排泄を促すため、大腸がんや直腸がんのリスクを下げる効果もあると言われています。

たけのこは部位により硬さが異なります。穂先の柔らかい部分は、炊き込みご飯やサラダに。中央の部分は、煮物、炒め物、揚げ物に。根本の硬い部分は、繊維を断つように千切りや短冊切りにして、中央部分と同様に調理すると美味しくいただけます。様々な料理でたけのこを味わってみてはいかがでしょうか。

～たけのこ鶏肉のオイスターソース炒め～

- 材料（2人前）○
 （1人当たり：エネルギー292kcal 塩分1.1g）
 鶏もも肉 200g
 たけのこ 120g
 ピーマン 2個
 酒 大1
 オイスターソース 大1
 醤油 少々
 ごま油 大1
 ○作り方○



- ①鶏もも肉を一口大に切って塩コショウをする。
- ②たけのこ（水煮）とピーマンを一口大に切る。
- ③フライパンでごま油を熱し鶏肉の皮目を下にして焼く。焼き目がついたらたけのこを加え、炒める。
- ④肉の色が変わったらピーマンを加え2分ほど炒める。
- ⑤酒、オイスターソース、醤油を加え炒め合わせる。

放射線治療の紹介

放射線治療科診療科長

川瀬 貴嗣



日本人の平均寿命がさらに長寿化したことに対応し、悪性腫瘍の患者数も増加しております。そのため近隣の医療施設の先生方には、各種の悪性腫瘍を発見される機会も多いかと存じます。当センター病院の放射線治療科は、当院の各診療科にご紹介いただいた悪性腫瘍の患者さんの治療において、放射線治療を担当しております。

当科では、体外放射線治療、すなわち体の外から放射線照射装置（リニアック）を用いて病巣に放射線を照射する方式の放射線治療を行っています。その治療の質はがん治療専門病院のものと遜色ありません。今

何かと話題のアイ・エム・アール・ティー（IMRT、強度変調放射線治療）にもフル対応しています。脳腫瘍や頭頸部腫瘍、骨盤内腫瘍など様々ながん腫のIMRTを日常的に実施しています。この治療法は、狙い目の病巣には十分な線量を投じつつ、その近くの正常臓器には無駄な被ばくが生じにくいように濃淡を付けて放射線を照射できることが特徴です。結果として良好な治療成績、副作用の軽減が期待できます。また、いわゆるピンポイント照射（定位放射線治療）にもフル対応しています。脳腫瘍・早期肺癌・肝細胞癌に実施しており、短期間で治療を完遂することができます。

連携登録医の諸先生方には、患者さんの体調や、発見・診断していただいたがん腫の種類により対応可能な診療科を見極め、各診療科に医療連携室を通してご紹介いただけましたら幸いです。



看護通信

NICUにお任せください！！

NICUでは、24時間集中治療が必要な赤ちゃんのケアをしています。

自ら症状を訴えることができない赤ちゃんの病態・状態を迅速に見極め、適切に対応しています。新生児科医師をはじめ看護師・新生児集中ケア認定看護師や臨床心理士・MSWがチームで赤ちゃんだけでなくご両親や兄弟、祖父母に至るまでさまざまなフォローを行っております。

また入院早期から母子の絆を深めるため、ママガーゼ・母乳アロマを始め、カンガルーケア・カンガルーマザーケアなどに積極的に取り組み細やかに関わっています。重症度、母児分離期間の長短に関係なく、それぞれの赤ちゃんが個性豊かに家族と共に成長できるよう、退院後も外来・地域と連携し継続して関わりたいと考えています。



地域連携 個人栄養食事指導

11月号にて地域医療連携個人栄養食事指導のご案内をいたしました。4月27日より実施いたします。詳しい内容は、当センターのホームページをご覧ください。

連携登録医のご紹介

医療法人社団広恵会

春山記念病院

春山 廣記 先生



当院は1954年3月、現在の地に18床の有床診療所「春山外科」として誕生しました。1968年、60床の病院を新築、名称も「春山外科病院」となりました。開設以来急性期の外科系疾患を中心とした医療を提供しており、救急搬送件数は年間5000件近くとなっています。2002年に医療の継続性を目指し、それまでの個人病院から医療法人社団広恵会「春山外科病院」に変更しました。しかしながら病院も築40年を越えて老朽化が進んだため、新病院の建設を決定し、2011年2月より新病院建設に着手しました。病院機能を維持しながら、同じ敷地に新病院を建てるため、工期は6期に渡り、実に4年の歳月をかけましたが、本年1月無事竣工いたしました。従来の急性期病床60床に加えて、新病院では回復期リハビリテーション病床40床を併設しましたが、このことにより円滑な急性期疾患の受入が可能になるとともに、急性期から亜急性期、回復期への継続した医療の提供も図れると考えています。今後内科系疾患やリハビリテーション対象疾患への対応も充実させていく予定であり、新病院開院に合わせて本年1月末病院名称を「春山記念病

診療科 一般外科、整形外科、脳神経外科、消化器内科、消化器外科、形成外科、麻酔科、リハビリテーション科、内科

住所 新宿区百人町1-24-5

電話 03-3363-1661

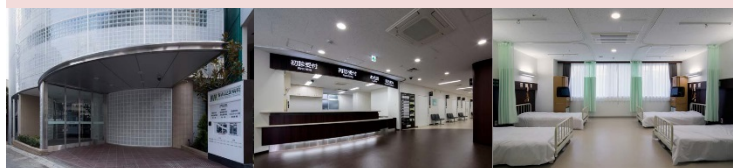
FAX 03-3371-1021

診療時間 月～金 9:00～12:00 13:00～17:00
土 9:00～12:00 13:00～16:00

休診日 日曜日・祝日・年末年始

交通 JR総武線 大久保駅より徒歩2分
西武新宿線 西武新宿駅より徒歩5分
新宿駅西口より関東バス 宿07 宿08 宿02 宿05 南通り 下車

ホームページ <http://www.haruyama-hosp.com>



院」と改めさせていただきました。

国立国際医療研究センター病院をはじめとし新宿区内のみならず渋谷、中野、杉並区等の医療機関との連携も強化されつつありますが、その中でも国立国際医療研究センター病院からのご紹介症例は手術適応疾患を含め増加してきています。また当院に搬送された患者さままで対応が困難な症例を、大変スムーズに受け入れてくださり感謝しております。

当院に紹介して良かったと思っただけのように、安心して信頼される医療の提供を続けていくため全職員一丸となって頑張っておりますのでこれからも宜しくお願い致します。

お知らせ

ゴールデンウィークの入院患者一時受け入れ（レスパイト入院）を行います。お問い合わせは医療連携室までご連絡下さい。
医療連携室（直通） 03-3202-8066

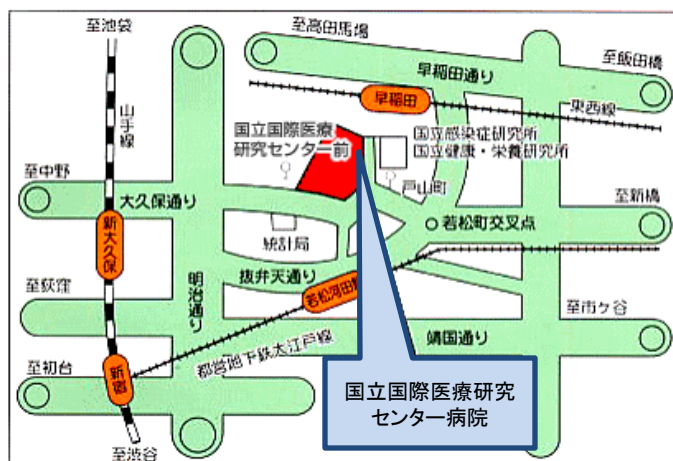
外来診療時間 8:30～17:15
 ・初診受付 紹介状が無い場合 8:30～11:00
 紹介状がある場合 8:30～14:00

ただし、形成外科、産婦人科、神経内科、整形外科、精神科、リハビリテーション科の6科および結核(疑いも含む)については「11時までの受付」となっています。

・休診日 土・日・祝日・年末年始

アクセス

- ・都営地下鉄 大江戸線「若松河田駅」より徒歩5分
- ・東京メトロ 東西線「早稲田駅」2番出口より徒歩15分
- ・JR大久保駅又は新大久保駅より都営バス「新橋」行 国立国際医療研究センター前 下車
- ・新宿駅西口より都営バス「医療センター経由女子医大」行 国立国際医療研究センター前 下車



独立行政法人

国立国際医療研究センター病院

TEL 03-3202-7181 FAX 03-3207-1038 ホームページ <http://www.ncgm.go.jp/>

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1

